



CanadaのBritish Columbia大学留学便り

林 哲太郎 医歯薬学総合研究科 創生医科学専攻 先進医療開発科学講座
腎泌尿器科学 助教 (当時)

私は現在、カナダのバンクーバーにあるブリティッシュコロンビア大学に留学しています。バンクーバーは、カナダの西側に位置する人口約60万人の都市で、2010年に冬季オリンピックが開催されたように、豊かな自然が残る街です。また移民の国カナダに特徴的な多民族都市であるため、外国人にも寛容で、私たち家族も地域の人たちに温かく迎えられ、彼らに支えられながら生活しています。

私の所属している研究室は、ブリティッシュコロンビア大学内の研究機関であるバンクーバー前立腺センターで、周囲にバンクーバー総合病院、ブリティッシュコロンビア州癌研究所などの大学、研究機関、病院が並ぶメディカルエリアにあります。研究室は、泌尿器科臨床講座の教授でもあるMartin Gleave教授が主催されており、臨床医の研究機関であることから泌尿器科癌の新規治療モデルの開発を目的としています。以前に日本からの留学生が見つけた去勢抵抗性前立腺癌で高発現するClusterinに対する薬剤は現在Phase IIIに入っており、臨床検体から発癌や癌の進展に関与する分子を見つけ、それを標的とした前臨床試験を行うことが主な研究内容です。研究室のメンバーも非常に多国籍軍で、フランス、ドイツ、中国、インド、レバノン、イラン、モロッコ、イギリス、アメリカ、カナダ、韓国などからの出身者で構成されている上に、医療関係以外の様々な専門性を持つ人たちが一緒に仕事をしており、このことが研究の推進力になっていると思われまます。

私の指導医も泌尿器科臨床医であり、私は膀胱癌の治療標的に関するテーマを与えられました。現在、同じ研究チームのドイツ人とロシア人の泌尿器科医と共に細胞株とマウスでの実験を行っています。さらに臨床検体の解析では、イラン人の泌尿器科医と韓国人の大学院生と共同で研究をしています。様々な国籍や背景を持つ人達と助け合い、競い合いながら仕事する経験は、学ぶことも多く、新鮮であり、充実した日々となっています。時には言葉と文化の違いによる誤解や勘違いなどの問題が生じることもありますが、常に積極的な姿勢で取り組んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、このような貴重な留学の機会を与えていただいた松原昭郎教授ならびに広島大学の諸先生方に、心より御礼申し上げます。

